

第79回 国民スポーツ大会（旧、国体）成年女子の部、高知県予選会 （要項）

1. 主催 高知県剣道連盟
2. 共催 (公財)高知県スポーツ協会
3. 日時 令和7年5月11日（日） 開会式 13時30分～
(昇段審査終了後の為、開始が遅れる場合もあります)
※四国ブロック予選は令和7年8月17日（日）
※本戦は令和7年9月29日（月）～10月1日（水）
4. 場所 高知県立武道館
※四国ブロック予選は徳島県
※本戦は滋賀県
5. 参加資格
 - (1) 高知県剣道連盟会員であり、連盟会費を納入している者
 - (2) 令和7年4月30日以前から本県に居住、または勤務している者
 - (3) 出場年齢基準
先鋒 平成7年4月2日以降～平成18年4月1日までに生まれた者
中堅 昭和60年4月2日以降～平成7年4月1日までに生まれた者
大将 昭和60年4月1日以前に生まれた者
※選手の年齢計算は、令和7年4月1日現在とする。
 - (4) 出場する選手の段位、及び職業は制限しない
※ 社会人、大学生については『国民スポーツ大会ふるさと選手制度』を活用することができる場合がある。ただし、予選への出場は1ヶ所とする。
6. 選考方法
各ポジションとも、申し込み者が1名の場合は対象者を勘案して、選手選考委員会においての選考とする。
申し込み者が2名以上の場合は、人数によりリーグ戦またはトーナメント戦にて決定する。
なお、本大会については監督・選手編成についての規定があるので【選手選考規定】を参照のこと。
7. 抽選会 高知県剣道連盟が行う。
8. 申し込み期日 令和7年5月2日（金） 必着
※ 申し込みは、各自が所属している地域または職域の各連盟からの申し込みと個人から直接の申し込みは受け付けない。（大学生についてはこの限りではない）
9. その他
 - 参加料 2,000円
 - 連盟会費<令和7年度>四段以下は6,000円、五段以上は8,000円。
 - 竹刀の計量を行う。
 - 目印は各自で持参すること。
10. 試合・審判および試合方法について
 - 全日本剣道連盟、剣道試合・審判規則および細則を遵守して行う。
 - 試合者はマスク（鼻および口を覆うもの）またはマウスシールドの着用が必須。

○試合は三本勝負とし、試合時間は5分とする。試合時間内に勝敗の決しない場合は延長戦を行い、先に一本取った者を勝ちとする。延長に入ってから試合時間は3分区切りで行い、延長3回で5分の休息をとる。

高知県剣道連盟、選手選考規定

高知県の代表として全国大会に出場する選手の選考方法は次の通りとする。
ただし、最終決定は「選手選考委員会」にて試合結果等を総合的に判断して行う。

- 1, 予選会（2名以上参加）に出場し権利を得る。
- 2, 予選会への参加者が1名以下の場合は「選手選考委員会」にて選考する。
- 3, 諸事情により予選会が開催できない場合は「選手選考委員会」にて選考する。
- 4, 国民スポーツ大会の選手選考は以下の通りとする。

(1) 少年男女

高校秋季・春季大会、県体の試合結果を参考に、高体連剣道部運営委員会にて選考された国スポ候補選手および高体連剣道部に所属していない出場年齢基準を満たす者で予選会を実施する。監督は「公認資格」を有する者とする。

(2) 成年男女

監督は選手が兼任することとなっているため、選手の中に最低1名は「公認資格」を有する必要がある。出場権利を得た者の中に「公認資格」取得者が1名もいなかった場合は、「公認資格」を有し且つ予選会に出場している者の中から「選手選考委員会」にて選考する。その選考順序は大將⇒副将⇒中堅⇒次鋒⇒先鋒とし、そのポジションで権利を得ていた者は代表からはずれる。

(注)「公認資格」とは、「社会体育指導員剣道」および「コーチングアシスタント」（スポーツリーダーから変更）の資格を取得し、スポーツ協会から認定を受けていることをいう。